

基本理念

私たちは、患者さんの人権を尊重し、
 地域に必要な基幹的中心的な医療を
 担当すると共に、さらに高次の医療に
 対応できるよう努力します。

2016 Spring Vol.045

編集：広報委員会・広報課
 印刷：有限会社 アクト
 〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17
 TEL.075-391-5811(代)

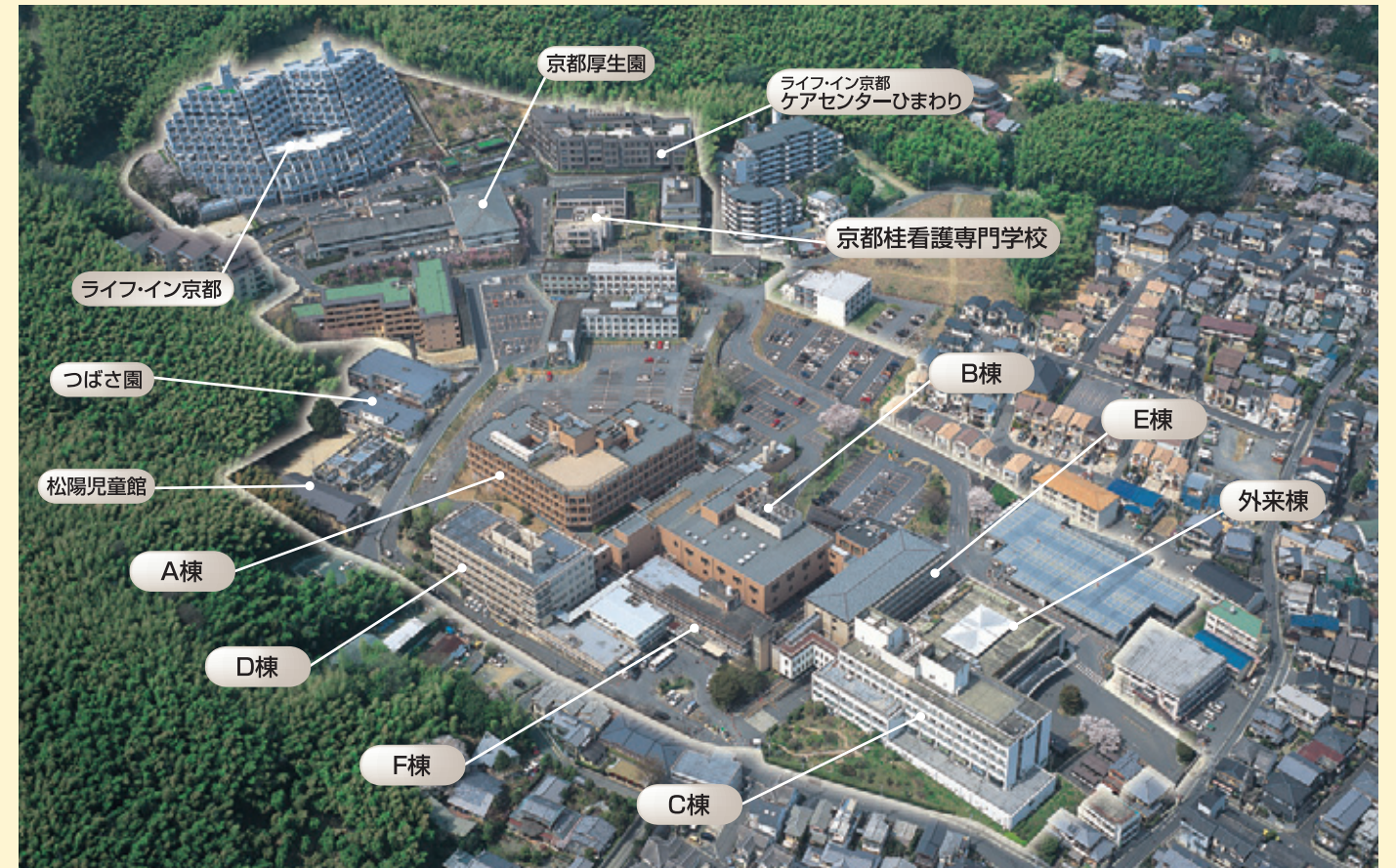


勸修寺 (撮影 桐山豊三郎)



Index

| | |
|------------------------|---|
| ホスピタルインフォメーション | 2 |
| 平成28年度を迎えて | |
| 知ったク情報コーナー | 3 |
| 栄養科より 春のレシピ2種紹介 | |
| シリーズ チーム医療 ⑦ | 4 |
| 当院の患者サポート体制と医療安全対策について | |
| ナースの広場 | 6 |
| 救急医療の充実を目指して | |
| 連携医ネットワーク | 6 |
| 当院の医師・職員紹介 | 7 |



許可病床数

●585床 (一般525床：結核60床)

診療科目

- 一般内科 ●血液内科 ●脳神経内科 ●内分泌・糖尿病内科
- 腎臓内科 ●膠原病・リウマチ科 ●化学療法内科
- 心臓血管センター (心臓血管内科・心臓血管外科)
- 消化器センター (消化器内科・外科) ●乳腺科
- 呼吸器センター (呼吸器内科・呼吸器外科)
- 整形外科 ●形成外科 ●泌尿器科 ●産婦人科 ●眼科
- 耳鼻咽喉科 ●脳神経外科 ●皮膚科 ●小児科
- 緩和ケア科 ●精神科 ●リハビリテーション科
- ペインクリニック科 ●放射線科 ●麻酔科 ●救急科
- 透析センター ●健康管理センター

●京都桂臨床医学研究所(臨床試験センター) ●保育所

併設施設

- 京都桂看護専門学校 (全日制3年課程)
- 訪問看護ステーション「桂」

関連施設

- | | |
|-----------|--------------|
| ●西陣病院 | ●にしがも透析クリニック |
| ●京都厚生園 | ●京都桂川園 |
| ●北野保育園 | ●二条保育園 |
| ●つばさ園 | ●ももの木学園 |
| ●ライフ・イン京都 | ●松陽児童館 |
| | ●にしがも舟山庵 |
| | ●昭和保育園 |



交通のご案内

- ▶市バス
73系統(京都駅～洛西バスターミナル)
29系統(四条烏丸～洛西バスターミナル)
69系統(二条駅西口～阪急桂駅東口)
それぞれ「千代原口」下車、徒歩約10分
- ▶京阪京都交通バス
21、27系統(京都駅～桂坂中央)
「千代原口」下車、徒歩約10分
- ▶阪急電鉄
京都線「桂駅」下車
(西口)西へ約1.7km
- ▶病院専用送迎バス(約15分)
「阪急桂駅」及び「JR桂川駅」からは
送迎バスを無料でご利用いただけます。
- ▶JR桂川駅 送迎バスのりば
(阪急桂駅西口の送迎バスのりばは、
上記地図を参照してください。)



社会福祉法人 京都社会事業財団
京都桂病院
<http://www.katsura.com>

栄養科

春のレシピ2種紹介

春キャベツの浅漬け

◆材料 (1人分)

春キャベツ … 10g
人参 …… 2g
胡瓜 …… 2g
塩昆布 …… 0.5g

エネルギー …… 4kcal
蛋白質 …… 0.2g
脂質 …… 0g
炭水化物 …… 1.0g
食塩 …… 0.1g



作り方 春キャベツは1cm幅くらいの短冊切りに、胡瓜は輪切り、人参はいちょう切りにし茹ですずに生のままで塩昆布と混ぜ合わせる。塩昆布がしんなりと軟らかくなるまで10分ほどおいておく。

鯖の有馬煮

◆材料 (1人分)

鯖 …… 70g
薄口醤油 …… 4g
砂糖 …… 3g
みりん …… 1g
酒 …… 2g
実山椒 …… 0.5g

エネルギー …… 147kcal
蛋白質 …… 14.6g
脂質 …… 6.8g
炭水化物 …… 4.7g
食塩 …… 0.8g



作り方 鯖は霜降りをしておく。全ての調味料を鍋に入れ、煮立たせたところに実山椒と霜降りした鯖を入れ落とし蓋をして煮汁が少し煮詰まるくらいまで炊く。



食材豆知識

●キャベツ

キャベツはビタミンCの宝庫です。特に外葉と芯の周りにたっぷり含まれています。大きな葉2枚程で、1日に必要なビタミンCの多くを補給できます。また、キャベツには葉の名前にもなっているキャベジンが豊富で、胃の粘膜の修復を助け、胃潰瘍や十二指腸潰瘍の予防に役立ちます。ビタミンCやキャベジンには水に溶けやすく熱に弱いので、効率よく食べるには生で食べるのがおすすめです。

●鯖

鯖はたんぱく質が豊富で、脂質も適度にあります。良質なたんぱく質には、体力の向上・疲労回復・免疫力を向上させる働きがあります。脂質には、高血圧を予防したりLDLコレステロールを低下させるオレイン酸が多く含まれます。また、鯖は他の魚類に比べ、カリウムの含有量が多いのも特徴と言えます。カリウムは体内の余分なナトリウムを尿と共に排泄してくれるので、高血圧の予防に役立ちます。

今回紹介したおすすめ春レシピ2種類はどちらも減塩レシピですが、薄味を感じさせない料理になっていきます。減塩料理を作る際のポイントは味にアクセントをつけることです。
春キャベツの浅漬けは調味料を一切使いません。味付けは塩昆布のみですが、程よい塩分と昆布のうまみが溶け出て野菜にしっかり味がつきます。何

より、野菜を切って混ぜるだけという手軽さもおすすめです。
鯖の有馬煮も味付けは薄味ですが、山椒をいれることで香りや刺激が加わり食べやすくなります。有馬煮の添えに筍や蒟を添えたりお豆腐や春らしい献立になります。一番味がのっている旬の食材を利用し、素材そのものの味を楽しみましょう。

ホスピタルインフォメーション



平成28年度を迎えて

4月より院長に就任しました若園吉裕と申します。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

さて本年度の行動方針は「**医療体制の再構築**」といたしました。これは、日本が少子高齢化社会に突入し、65歳以上の人口が2040年までは増え続け、特に75歳以上の人口は2055年まで減少することなく増加する事実を受けてそのようにいたしました。その結果、疾病構造、治療方針などが変化し病院機能も変化することが予想されますが、本院が地域における高度急性期・急性期を担わせていただくことは変わりありません。まず高齢者が増加することで発症頻度が増す疾患は悪性腫瘍と身体各所の動脈硬化に伴

う疾患と考えられます。悪性腫瘍の増加に対して負担の少ないがん治療が必要となります。それに対して従来の種々の治療の強化に加え、VerobioやADRTやエレクターVersa HDの高性能放射線治療機器を備えました。また鏡視下手術がすべての手術分野で展開されています。動脈硬化に伴う疾患では心筋梗塞・胸腹部動脈瘤・動脈解離に対してステント治療が多く実施されております。また後期高齢者の増加で救急医療の充実も必要となります。昨年度、救急初療室の一元化と整備を行いました。今後ICUなどの機能と合わせて新棟建築を考慮してゆく予定です。高齢に伴い衰えてゆく機能として視力や聴力、筋力、認知機能などが考えら

れそれらに対する対応も重要になります。また、病気の予防もより重要なものとなります。糖尿病や慢性腎臓病の予防やそれらによる合併症の予防、認知症の早期発見と進行の抑制、要介護の原因となるロコモティブシンドロームの予防、人間ドッグの再整備と充実が必要です。また少子化への対策も必要です。地域の出産を支え、子育てを支援し発達障害児への対応、児童心理治療施設への援助も考えてゆきます。



院長 若園吉裕

の後も建築物の整備を行い機能の充実を図りたいと考えています。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。



シリーズチーム医療⑦

当院の患者サポート体制と医療安全対策について

患者さん、ご家族の声を

医療現場に生かすために

「安全で質の高い医療を受けたい」「安全で質の高い医療を提供したい」、患者さん側の想いと、私達医療者の想いは同じです。

医療はサービス業とも言われますが、一般のサービス業とは違って、病院で行われる処置や手術、注射や投薬、検査などの医療行為は身体的なリスクを伴います。また、医療は確実に発展、進歩していますが、本質的にはまだまだ不確実なものなのです。

高度でかつ安全な医療、看護を提供するためには、医療者側の努力はもちろんですが、患者さん、ご家族の皆さんも医療チームの一員として協力いただくことが欠かせません。

そのためにも患者さん、ご家族と医療者との信頼関係を築くことはとても重要になります。

しかし、病院の機能は分担され、急性期を担う病院では在院日数もほとんど短くなっており、外来においても、残念ながらゆっくりとお話しできる状況ではないのが現状です。

限られた時間のなかでも、患者さんやご家族の不安な気持ちに寄り添い、患者さん・ご家族と協働して安全で質の高い医療に取り組むことができることを常に願っています。

さて、今回は、患者さん、ご家族の方のご意見を医療現場に生かすための取り組み、及び、患者さんをサポートするための体制として、当院の相談窓口の紹介や、皆さんから頂いたご意見等の対応の流れを説明させていただきます。



患者さんからの「ご意見」等について

院内には、外来棟玄関の他、入院会計、健康管理センター、及び各病棟のスタッフステーション前に「ご意見箱」を設置しております。

「意見書」にはAおしかり、Bおほめ、Cご意見、Dその他、の内容をご記入いただき投函してください。頂いた貴重な「ご意見」を医療現場に生かすために、日時や部署、誰の、どのようなことか、を具体的に「ご記入いただく」と大変助かります。



「ご意見」の対応の流れ

頂いたご意見等は、1週間ごとに回収し院長が目を通し、医療安全管理室で事実確認調査を行います。また、内容により関係部署や、関係委員会、及び医療安全カンファレンス等で検討します。接遇など改善が必要な内容はスタッフへ周知を行います。

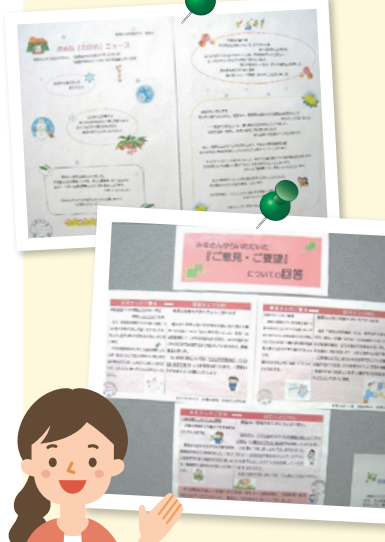
個人名の記載がある「おしかり」は事実確認を含め本人に確認を行い、また「おほめ」も必ず該当部署および個人へ届けます。

「おしかり」、「ご意見」はもちろんですが、「おほめ」も医療現場の士気を高める嬉しい宝物になります。

「ご意見」の中で多いのは、待ち時間の苦情、送迎バスについて、外来棟のトイレについて、スタッフの接遇や施設関連についてですが、その内容によって、すぐに改善に活かせるもの、時間を要するもの、現時点では対応が難しいもの、に分かれます。

頂いたご意見から大きく改善されたのは、外来棟のトイレです。昨年ようやく1階エリアの改修工事が終わりました。次は2階採血室横のトイレの改修ですが、休日を利用しての大掛かりな工事となることから、施設部門で工事日程を調整しているところです。また、送迎バスについては、JR桂川駅への送迎の運行が開始されました。待ち時間については、診療科によりまだ差がありますが、継続課題として取り組んでいるところです。

その他、多くのご意見の中からいくつかの回答を3カ月に1回、院内掲示板に掲載しております。掲示板は、外来棟1階と2階、及び医療福祉相談室前にあります。是非ご覧下さい。



各相談窓口について

患者相談窓口【外来棟正面玄関入口】

医療全般に関する様々なご相談、及び個人情報に関することや苦情等もお伺いしています。

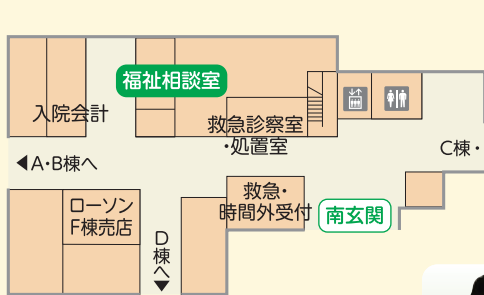


地域医療福祉連携室【外来棟1階】

かかりつけ医のご相談や近隣の医療機関に関する情報提供などを行っています。入院中や外来での療養に関する相談もお伺いしています。

がん支援センター【外来棟1階】

がんの治療に関するご相談やがん関連の各種情報提供を行っています。



i 各相談窓口対応及びお電話でのご相談は平日9:00~17:30までとなります。お電話は(075)381-5811(代)より、各窓口をご指定下さい。



医療安全管理室 医療対話推進者 山本 博美



京都桂病院 医療安全管理室 室長 有山 真智子 (医療対話推進者)

救急医療の充実を目指して



看護部
外来看護統括 堀 直美

京都桂病院は1998年救急告示病院となりましたが体制の問題上、時間内・時間外と救急診療室が分かれた運用となっていました。しかし、2015年3月、ER専従医の着任とともに院内スタッフが協力をしたことで、同年10月F棟1階で昼夜問わず一本化して受け入れることができました。

新しい救急科を少しだけ紹介します



▲救急蘇生室

救急蘇生室です。全身状態が不安定で危険な状態で搬送された時に使用します。患者さんを中心に医師、看護師ともいち早く救命治療ができるよう桂ERフォーメーションを掲げ、患者対応の振り返りをもとに救急蘇生のシミュレーションを日々行っています。次に経過観察室です。救急搬送



▲経過観察室

され治療が優先される中でゆとりと安心して検査結果の待ち時間や点滴終了まで休んでいただけるように入院と同じベッドを配置しました。救急医療は決して単独部署でできるものではありません。引き続き院内・外問わず関係者の方々と協力をしながら、地域のあらゆる機関と連携を取り24時間365日いつでも安心・安全な質の高い救急医療が提供できるように努力していきたいと思っております。

ご質問やご要望は、お気軽にご相談ください。



私たちは、真心を添えて看護します。

医師紹介

院長 (京都桂看護専門学校校長兼務) 野口 雅
副院長(消化器センター所長兼務) 若 園
副院長(呼吸器センター所長兼務) 寺 田
副院長(精神科部長兼務) 立 田
副院長(地域医療推進室長兼務) 岸 野
常任顧問(泌尿器科部長兼務) 野々 村
常任顧問(脳神経外科部長兼務) 新 野
一般内科部長 酒 宮
腎臓内科部長 鈴 山
血液内科部長(輸血部長兼務) 迫 山
化学療法科部長 森 迫
脳神経内科部長(脳血管センター長兼務) 植 橋
内分泌・糖尿病内科部長 土 濱
膠原病・リウマチ科部長 植 橋
消化器センター 消化器内科部長 森 迫
消化器内科部長 土 濱
消化器内科部長 植 橋

消化器センター 消化器内科部長 森 迫
消化器センター 消化器内科部長 土 濱
消化器センター 消化器内科部長 植 橋
呼吸器センター 呼吸器内科部長 森 迫
呼吸器センター 呼吸器内科部長 土 濱
呼吸器センター 呼吸器内科部長 植 橋
心臓血管センター 心臓血管内科部長 森 迫
心臓血管センター 心臓血管内科部長 土 濱
心臓血管センター 心臓血管内科部長 植 橋
形成外科部長 森 迫
形成外科部長 土 濱
形成外科部長 植 橋

産婦人科部長 森 迫
泌尿器科部長 土 濱
泌尿器科部長 植 橋
眼科部長 森 迫
耳鼻咽喉科部長 土 濱
脳神経外科部長 植 橋
小児科部長 森 迫
皮膚科部長 土 濱
皮膚科部長 植 橋
放射線科部長 森 迫
放射線科部長 土 濱
放射線科部長 植 橋
救急科部長 森 迫
救急科部長 土 濱
救急科部長 植 橋
健康管理センター 健康管理センター部長 森 迫

事務部長 篠田 浩之
主任 岡村 篤志
地域医療福祉連携室 有山 真智子
医療安全管理室 丸堀 恭平
研修医紹介 市岡 優一
市岡 優一
市岡 優一
市岡 優一

連携医 ネットワーク

地域の皆様により良い医療を...

「連携医」とは、日頃より患者さんを紹介していただくだけでなく、当院からの患者さんを受け入れて対応していただける医院・診療所の先生です。

公手内科・消化器内科医院



院長 公手修一

日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医

「地域の皆様の健康増進を目的に献身的医療を提供する」をモットーに内科、消化器内科医院を西京区榎原水築町で開院し今年で10年になります。当院では胃カメラ検査、大腸内視鏡検査、腹部超音波検査などを行っております。胃カメラ検査は苦痛を伴う事が多く少しでも楽な検査で多くの方に受けていただきたく、開業時より細径内視鏡による経鼻内視鏡検査を開始いたしました。患者さんの中には経鼻内視鏡より経口内視鏡の方がましだったとおっしゃられる方もおられますが、大半の方は経口よりは楽と言って頂いており今後も継続したいと思っております。

京都桂病院さんには多くの救急患者さんの受け入れや多岐にわたる疾患を加療していただき、数多くの命を救っていただいたこと大変感謝しております。今後も連携医として頑張ってもらいますのでよろしく願いいたします。

職員一同発病予防や健康増進に努めておりますので、何か気になることなどありましたら気軽にご相談下さい。

医院・診療所 DATA

診療科目 内科、消化器内科



【所在地】京都市西京区榎原水築町13
ウエストポイント
【電話】075-382-0616
【休診日】木曜・土曜午後、日曜、祝日
【診療時間】

| | | | | | | | |
|----|-------------|---|---|---|---|---|---|
| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| 午前 | 9:00~12:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 午後 | 17:00~20:00 | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - |